

自然増加数 減少続く

～ 平成24年 住民基本台帳に基づく人口～

今号の特集では、福岡市における平成 24 年 9 月末現在の住民基本台帳に基づく日本人の人口及び平成 24 年の人口動態の状況をご紹介します。「住民基本台帳に基づく人口」とは、福岡市に住民登録をしている人を集計したものです。

1 世帯あたり人員は2.06人で、前年比 0.02人の減少となりました。人口・世帯数ともに増加傾向にあります。世帯数の伸びが人口の伸びを上回っているため、1 世帯あたり人員は減少が続き、世帯規模の縮小化が続いています。(表 1, 図 1)

1. 住民基本台帳に基づく人口

(1) 概要

1 世帯あたり世帯人員2.06人

世帯規模の縮小化続く

住民基本台帳に基づく平成24年 9 月末現在の福岡市の人口は1,432,532人で前年(平成23年 9 月末現在)に比べ13,221人増加し、増加率は0.9%となっています。世帯数は694,512世帯で、前年に比べ10,627世帯増加し、増加率は1.6%となりました。

性別に見ると、男性は679,533人で、前年と比べて5,336人増加し(対前年増加率 0.8%)、女性は752,999人となり、前年と比べて7,885人の増加(同1.1%)となっています。女性を100としたときの男性の割合を示す「性比」は90.2となり、前年比0.3の減少となりました。

(2) 行政区別人口

人口・世帯数ともに都心部で最も増加

行政区別に見ると、人口は城南区以外の区で増加、世帯数は全ての区で増加しています。人口は東区の284,623人が最も多く、次いで南区, 早良区の順になっています。世帯数は、

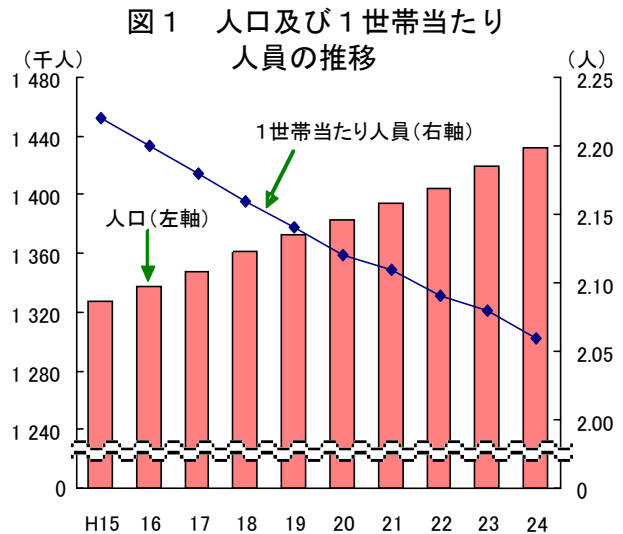


表 1 世帯数, 人口等の推移

各年 9 月末現在

年	世帯数	人口			性比	1 世帯当 たり人員	対前年増減					
							世帯数		人口			
		世帯	男	女			世帯	率	人	率	人	率
平成15年	598 954	1 327 099	634 863	692 236	91.7	2.22	9 605	1.6	10 877	0.8		
16年	608 510	1 337 576	639 168	698 408	91.5	2.20	9 556	1.6	10 477	0.8		
17年	618 034	1 347 823	642 842	704 981	91.2	2.18	9 524	1.6	10 247	0.8		
18年	630 866	1 361 060	648 387	712 673	91.0	2.16	12 832	2.1	13 237	1.0		
19年	642 514	1 372 840	652 935	719 905	90.7	2.14	11 648	1.8	11 780	0.9		
20年	652 282	1 382 563	656 798	725 765	90.5	2.12	9 768	1.5	9 723	0.7		
21年	662 040	1 394 017	662 176	731 841	90.5	2.11	9 758	1.5	11 454	0.8		
22年	671 525	1 404 525	667 402	737 123	90.5	2.09	9 485	1.4	10 508	0.8		
23年	683 885	1 419 311	674 197	745 114	90.5	2.08	12 360	1.8	14 786	1.1		
平成24年	694 512	1 432 532	679 533	752 999	90.2	2.06	10 627	1.6	13 221	0.9		

東区の131,434世帯が最も多く、以下、南区、博多区と続いており、人口、世帯数ともに最も少ないのは城南区となっています。

人口増加数は、博多区の2,912人が最も多く、次いで中央区の2,896人となっており、城南区は減少に転じました。

世帯増加数も、博多区が2,446世帯と最も多く、中央区が1,913世帯で続いています。

性比を見ると、博多区が94.9と最も高く、次いで東区の94.5で、他の区と比べて男性の割合が多くなっています。最も低い中央区(79.2)、続く南区(88.9)は他の区と比べて女性の割合が多いことが分かります。

1世帯当たり人員を見ると、最も多いのは西区の2.34人で、以下、早良区、東区の順になっており、都心部に位置する中央区(1.74人)と博多区(1.76人)は、福岡市全体の2.06人を下回っています。全ての区にお

いて世帯数の伸び率が人口の伸び率を上回っており、世帯規模の縮小化は全区的なものとなっています。(表2)

(3) 年齢別人口

生産年齢人口割合の低下が続く

年齢区分別の構成比を見ると、福岡市全体の15歳未満の「年少人口」の割合は14.0%となり、横ばい状態が続いています。15～64歳の「生産年齢人口」の割合は67.7%で、前年と比べ0.7ポイント減少し、65歳以上の「老年人口」の割合は18.3%で、前年と比べて0.7ポイント増加しました。割合の推移を見ると、生産年齢人口の割合は低下傾向にあり、老年人口の割合は上昇傾向にあることが分かります。

行政区別に見ると、年少人口の割合が福岡市全体の割合(14.0%)より高いのは、西区、

表2 行政区別世帯数及び人口

各年9月末現在

区	平成23年		平成24年					対前年増減				
	世帯数	人口	世帯数	人口	性別		性比	1世帯当たり人員	世帯数	率	人口	率
					男	女						
福岡市	683 885	1 419 311	694 512	1 432 532	679 533	752 999	90.2	2.06	10 627	1.6	13 221	0.9
東区	129 816	282 475	131 434	284 623	138 317	146 306	94.5	2.17	1 618	1.2	2 148	0.8
博多区	112 487	199 910	114 933	202 822	98 747	104 075	94.9	1.76	2 446	2.2	2 912	1.5
中央区	95 797	167 578	97 710	170 474	75 347	95 127	79.2	1.74	1 913	2.0	2 896	1.7
南区	114 308	244 764	115 892	246 869	116 160	130 709	88.9	2.13	1 584	1.4	2 105	0.9
城南区	56 809	121 633	57 198	121 615	57 634	63 981	90.1	2.13	389	0.7	△ 18	0.0
早良区	93 224	211 304	94 223	211 928	100 556	111 372	90.3	2.25	999	1.1	624	0.3
西区	81 444	191 647	83 122	194 201	92 772	101 429	91.5	2.34	1 678	2.1	2 554	1.3

表3 行政区別年齢3区分別人口

各年9月末現在

	人口総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	年齢別割合					老年化指数	
					うち75歳以上		15歳未満	15～64歳	65歳以上		うち75歳以上
					人	人	%	%	%		%
平成20年	1 382 563	193 725	957 148	231 690	104 925	14.0	69.2	16.8	7.6	119.6	
21年	1 394 017	195 287	958 622	240 108	109 896	14.0	68.8	17.2	7.9	123.0	
22年	1 404 525	196 457	962 620	245 448	114 703	14.0	68.5	17.5	8.2	124.9	
23年	1 419 311	198 694	970 383	250 234	119 746	14.0	68.4	17.6	8.4	125.9	
平成24年	1 432 532	200 197	969 907	262 428	124 749	14.0	67.7	18.3	8.7	131.1	
東区	284 623	42 518	189 979	52 126	24 565	14.9	66.7	18.3	8.6	122.6	
博多区	202 822	24 079	145 124	33 619	15 768	11.9	71.6	16.6	7.8	139.6	
中央区	170 474	19 133	123 396	27 945	13 568	11.2	72.4	16.4	8.0	146.1	
南区	246 869	34 529	164 939	47 401	22 904	14.0	66.8	19.2	9.3	137.3	
城南区	121 615	16 797	80 704	24 114	11 527	13.8	66.4	19.8	9.5	143.6	
早良区	211 928	32 310	139 710	39 908	18 724	15.2	65.9	18.8	8.8	123.5	
西区	194 201	30 831	126 055	37 315	17 693	15.9	64.9	19.2	9.1	121.0	

早良区及び東区で、生産年齢人口の割合が福岡市全体の割合(67.7%)より高いのは中央区と博多区、老年人口の割合が福岡市全体の割合(18.3%)より高いのは、城南区、南区、西区及び早良区となっています。

年少人口に対する老年人口の割合を示す「老年化指数」は、中央区、城南区、博多区、及び南区で、福岡市全体の指数(131.1)を上回りました。(表3)

(4) 世帯員数別世帯数

中央区、博多区 1人世帯が約6割

世帯員数別世帯数の構成比を見ると、1人世帯が46.2%で前年比0.6ポイントの増加、2人世帯は前年と同じ23.1%となりました。3人世帯は14.8%で前年比0.2ポイントの減少、4人以上の世帯は16.0%で前年比0.3ポイントの減少となりました。

行政区別に見ると、全ての区で1人世帯の割合が最も高くなっており、特に中央区と博多区は、約6割が1人世帯となっています。

(表4、図2)

(5) 小学校区別人口

人口増加数 千早校区が最も多い

小学校通学区域別に見ると、人口が最も多いのは平尾校区(中央区)の21,519人で、以下、博多区の博多校区、那珂校区と続いています。

人口が最も少ないのは曲渕校区(早良区)の188人で、次いで西区の小呂校区、東区の勝馬校区となっています。

前年と比べた人口増加数は、東区の千早校区(1,083人増)が最も多く、以下、西区の玄洋校区(966人増)、南区の塩原校区(634人増)となり、人口増加率は、千早校区(13.2%)、東区の照葉校区(9.4%)、玄洋校区(8.6%)の順になっています。一方、人口減少数は、城南区の長尾校区(213人減)、東区の舞松原校区(202人減)、美和台校区(163人減)の順に多くなっています。(表5)

図2 世帯員数別世帯数

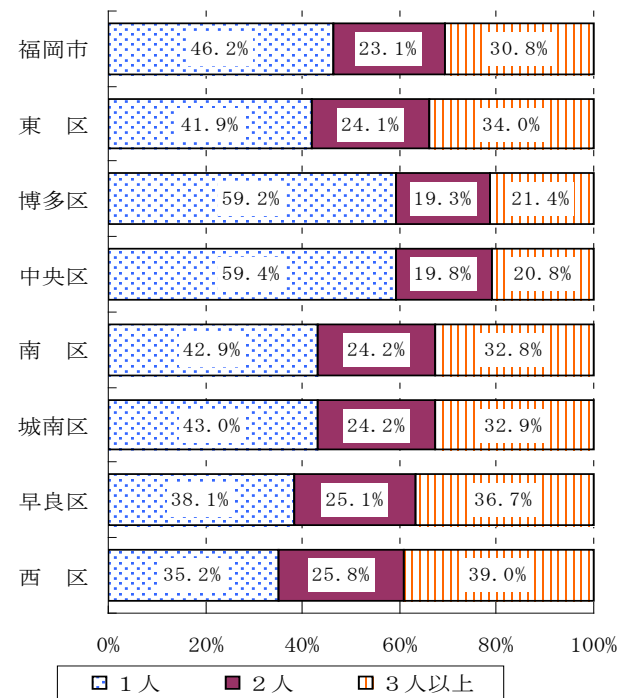


表4 行政区別世帯員数別世帯数

各年9月末現在

	総数	世帯数				構成比			
		1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上
平成20年	652 282	289 721	149 131	100 163	113 267	44.4	22.9	15.4	17.4
21年	662 040	296 322	152 100	101 073	112 545	44.8	23.0	15.3	17.0
22年	671 525	303 284	154 533	101 752	111 956	45.2	23.0	15.2	16.7
23年	683 885	312 138	157 685	102 681	111 381	45.6	23.1	15.0	16.3
平成24年	694 512	320 661	160 267	102 725	110 859	46.2	23.1	14.8	16.0
東区	131 434	55 051	31 697	21 075	23 611	41.9	24.1	16.0	18.0
博多区	114 933	68 083	22 210	12 574	12 066	59.2	19.3	10.9	10.5
中央区	97 710	58 026	19 319	10 837	9 528	59.4	19.8	11.1	9.8
南区	115 892	49 772	28 069	18 259	19 792	42.9	24.2	15.8	17.1
城南区	57 198	24 579	13 825	9 007	9 787	43.0	24.2	15.7	17.1
早良区	94 223	35 907	23 696	16 281	18 339	38.1	25.1	17.3	19.5
西区	83 122	29 243	21 451	14 692	17 736	35.2	25.8	17.7	21.3

表5 福岡市小学校区別世帯数及び人口

平成24年9月末現在

区・小学校区名	世帯数	校区人口	区・小学校区名	世帯数	校区人口	区・小学校区名	世帯数	校区人口
福岡市合計	694 512	1 432 532	草ヶ江	7 776	14 759	原北	3 171	7 817
東区	131 434	284 623	平尾	11 906	21 519	飯倉	4 513	9 820
馬出	6 189	10 155	高宮	7 774	11 558	賀茂	4 652	10 036
筥松	7 351	13 220	赤坂	6 234	11 089	有田	4 632	10 838
箱崎	7 591	13 363	南当仁	8 586	16 212	野芥	5 083	11 514
香椎	5 202	10 682	笹丘	5 683	11 889	大原	4 058	8 516
多々良	6 536	13 719	舞鶴	4 633	7 136	四箇田	3 483	8 141
名島	6 609	15 222	小笹	6 285	14 639	飯原	2 914	6 810
香住丘	8 344	17 247	福浜	2 750	5 447	有住	2 475	4 830
和白	4 921	11 266	鳥飼 *	337	709	田村	4 214	9 898
千早	4 066	9 289	南区	115 892	246 869	飯倉中央	2 317	5 338
城浜	2 266	3 821	三宅	8 074	16 234	小田部	3 560	9 366
若宮	4 562	9 916	花畑	3 917	9 228	百道浜	3 212	8 086
勝馬	102	264	玉川	8 576	15 429	脇山	1 024	2 517
志賀島	746	1 674	西高宮	7 955	16 824	内野	2 768	6 631
西戸崎	2 689	6 035	日佐	2 902	6 834	曲渕	79	188
美和台	6 618	15 676	宮竹 *	6 289	12 324	入部	3 188	7 754
八田	3 084	7 182	大楠	6 621	10 003	早良	1 593	3 830
和白東	5 378	12 201	若久	5 114	11 258	西区	83 122	194 201
舞松原	4 172	10 044	老司	3 743	8 659	姪浜	6 353	13 880
香椎東	5 729	13 764	長住	3 640	8 470	壱岐	6 354	16 251
青葉	4 653	12 351	筑紫丘	4 078	8 624	能古	337	740
奈多	3 960	9 061	西花畑	5 120	12 065	内浜	6 976	14 283
香椎浜	2 412	5 345	弥永	3 168	6 708	金武	1 948	5 602
香椎下原	6 273	13 183	東花畑	4 115	9 230	下山門	3 872	9 249
千早西	3 056	6 886	長丘	4 210	10 730	壱岐南	4 231	10 369
東箱崎	3 393	7 071	西長住 *	1 724	3 817	西陵	2 634	5 503
香陵	1 758	4 578	弥永西	3 601	8 360	壱岐東	2 224	4 632
松島	8 368	17 206	東若久	3 366	7 625	石丸	4 745	11 532
三苫	3 766	9 256	鶴田	3 014	7 378	愛宕	5 717	12 629
照葉	1 640	4 946	野多目	4 755	11 656	福重	3 653	8 191
博多区	114 933	202 822	高木	4 414	8 285	城原	3 283	7 830
博多	13 460	19 752	大池	3 691	8 325	愛宕浜	2 593	7 177
住吉	12 023	18 107	塩原	6 386	11 474	姪北	4 993	10 009
堅粕	6 938	9 803	柏原	3 729	9 520	今宿	5 292	12 629
千代	6 791	9 680	横手	3 690	7 809	今津	1 422	3 072
吉塚	5 645	9 977	城南区	57 198	121 615	周船寺	5 665	13 559
東住吉	6 247	8 465	西長住 *	840	1 977	元岡	4 487	11 432
席田	2 949	6 441	長尾	5 964	12 870	北崎	921	2 628
月隈	4 013	8 596	鳥飼 *	4 333	9 698	玄界	230	550
春住	5 645	9 007	別府	7 929	16 013	小呂	69	208
板付	6 955	14 765	七隈	6 285	12 755	玄洋	5 123	12 246
那珂	9 396	18 803	堤	4 390	10 225	複数区にまたがる小学校区の合算		
那珂南	7 100	13 153	城南	6 386	13 987	宮竹【合算】	8 018	16 225
東光	4 725	7 672	金山	3 799	7 241	西長住【合算】	2 564	5 794
東吉塚	5 932	10 861	片江	5 819	11 691	鳥飼【合算】	4 670	10 407
板付北	3 354	7 289	南片江	3 847	8 827			
東月隈	3 631	8 374	田島	4 781	10 476			
三筑	5 772	12 139	堤丘	2 825	5 855			
弥生	2 628	6 037	早良区	94 223	211 928			
宮竹 *	1 729	3 901	西新	7 758	15 850			
中央区	97 710	170 474	原	4 666	10 510			
大名	3 096	4 316	高取	7 905	16 056			
当仁	7 811	14 360	百道	3 365	7 683			
簗子	5 499	8 305	田隈	3 579	7 754			
警固	10 324	16 713	室見	5 040	11 032			
春吉	9 016	11 823	原西	4 974	11 113			

※ 本表及び次ページ以降の統計表は、福岡市教育委員会が公表している「市立小中学校の通学区」に基づいて、住民基本台帳に登録された日本人の住所地を各小学校区に振り分け、集計したものです。

※ 小学校名欄に「*」印を付した学校は、校区が複数行政区にまたがっているため、小学校区単位の数値は本表末尾に合算した値を示しています。

2. 人口動態

(1) 自然動態

自然増加数 減少続く

平成24年(1～12月)の自然動態(出生と死亡の数)は、出生数14,479人、出生率(人口1,000人当たりの出生数)は10.11‰(パーミル)、死亡数は10,703人、死亡率(同死亡数)は7.47‰で、自然増加数は両者の差の3,776人、自然増加率(同自然増加数)は、2.64‰となりました。

平成23年と比較すると、出生数は前年と比べ94人増加(前年比0.7%増)しましたが、死亡数も前年と比べて244人の増加(前年比

2.3%増)となったため、自然増加数は前年比150人の減少(前年比△3.8%)となりました。近年、出生数、死亡数ともに増加傾向にありますが、死亡数の伸びが出生数の伸びを上回っており、平成22年以降自然増加数は減少が続いています。

行政区別に見ると、出生率は博多区の11.31‰が最も高く、次いで東区、西区の順になっています。死亡率は城南区の7.84‰が最も高く、以下、東区、早良区が続いています。自然増加率が最も高いのは、博多区の3.88‰で、最も低いのは城南区の0.48‰でした。(表6、表7、図3)

表6 出生・死亡・自然増加数の推移

	出生数	死亡数	自然増加	
			実数	率
	人	人	人	‰
H15	13 024	8 318	4 706	3.55
16	12 978	8 510	4 468	3.34
17	12 542	8 762	3 780	2.80
18	13 255	8 915	4 340	3.19
19	13 921	9 104	4 817	3.51
20	13 977	9 654	4 323	3.13
21	14 207	9 341	4 866	3.49
22	14 506	10 158	4 348	3.10
23	14 385	10 459	3 926	2.77
24	14 479	10 703	3 776	2.64

図3 出生・死亡・自然増加数の推移

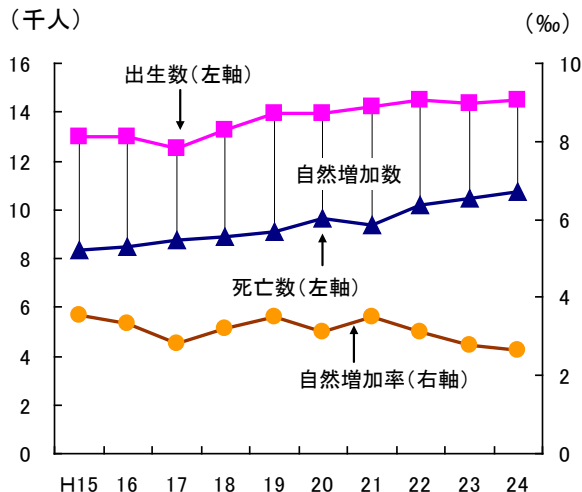


表7 自然動態

市区	平成23年			平成24年					
	自然増加数	出生数	死亡数	自然増加数	前年比	出生数	前年比	死亡数	前年比
	人, ‰	人, ‰	人, ‰	人, ‰	%	人, ‰	%	人, ‰	%
福岡市	3 926 (2.77)	14 385 (10.14)	10 459 (7.37)	3 776 (2.64)	△ 3.8	14 479 (10.11)	0.7	10 703 (7.47)	2.3
東区	928 (3.29)	3 036 (10.75)	2 108 (7.46)	867 (3.05)	△ 6.6	3 041 (10.68)	0.2	2 174 (7.64)	3.1
博多区	650 (3.25)	2 156 (10.78)	1 506 (7.53)	786 (3.88)	20.9	2 293 (11.31)	6.4	1 507 (7.43)	0.1
中央区	583 (3.48)	1 624 (9.69)	1 041 (6.21)	514 (3.02)	△ 11.8	1 610 (9.44)	△ 0.9	1 096 (6.43)	5.3
南区	506 (2.07)	2 360 (9.64)	1 854 (7.57)	568 (2.30)	12.3	2 456 (9.95)	4.1	1 888 (7.65)	1.8
城南区	282 (2.32)	1 166 (9.59)	884 (7.27)	58 (0.48)	△ 79.4	1 012 (8.32)	△ 13.2	954 (7.84)	7.9
早良区	569 (2.69)	2 081 (9.85)	1 512 (7.16)	474 (2.24)	△ 16.7	2 089 (9.86)	0.4	1 615 (7.62)	6.8
西区	408 (2.13)	1 962 (10.24)	1 554 (8.11)	509 (2.62)	24.8	1 978 (10.19)	0.8	1 469 (7.56)	△ 5.5

注) ()内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの自然増加数、出生数、死亡数。

(2) 社会動態（市外移動）

全ての区で転入超過

平成24年の社会動態（市外との転出入の数）は、転入者数が73,677人で転入率（人口1,000人当たりの転入者数）51.43‰、転出者数64,789人の転出率（同転出者数）45.23‰、両者の差である社会増加数は8,888人で、社会増加率（同社会増加数）は6.20‰となっています。

平成23年と比較すると、転入者数は575人減少、転出者数は1,276人増加し、社会増加数は1,851人減少しましたが、平成8年以降転入超過の状態が続いています。

行政区別に見ると、全ての区において転入

超過となっており、転入者数が最も多いのは博多区の15,225人で、次いで東区、中央区となっています。転出者数は博多区の12,877人が最も多く、以下、東区、中央区となっており、社会増加数は中央区の2,362人が最も多くなりました。（表8、表9）

各区の人口動態の構成を見ると、都心部に位置する中央区と博多区は、社会増加数の割合が高いことが分かります。（図4）

福岡市の人口の詳細は【福岡市の統計情報ホームページ】をご覧ください。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/tokeichosa/shisei/toukei/index.html>

表8 転入・転出・社会増加数の推移

	転入者数	転出者数	社会増加	
			実数	率
	人	人	人	‰
H15	77 966	72 992	4 974	3.75
16	76 348	71 489	4 859	3.63
17	76 455	69 968	6 487	4.81
18	78 190	70 537	7 653	5.62
19	77 277	71 363	5 914	4.31
20	74 425	69 378	5 047	3.65
21	72 862	67 795	5 067	3.63
22	70 727	65 528	5 199	3.70
23	74 252	63 513	10 739	7.57
24	73 677	64 789	8 888	6.20

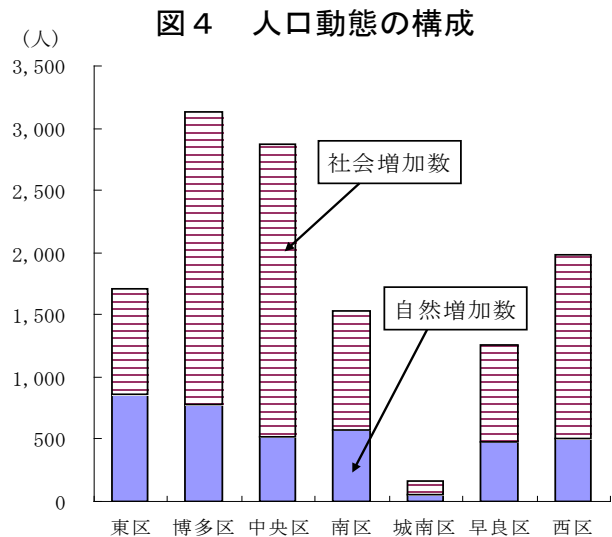


表9 社会動態

市区	平成23年			平成24年					
	社会増加数	転入者数	転出者数	社会増加数	前年比	転入者数	前年比	転出者数	前年比
	人, ‰	人, ‰	人, ‰	人, ‰	%	人, ‰	%	人, ‰	%
福岡市	10 739 (7.57)	74 252 (52.32)	63 513 (44.75)	8 888 (6.20)	△ 17.2	73 677 (51.43)	△ 0.8	64 789 (45.23)	2.0
東区	1 556 (5.51)	13 262 (46.95)	11 706 (41.44)	843 (2.96)	△ 45.8	13 179 (46.30)	△ 0.6	12 336 (43.34)	5.4
博多区	2 957 (14.79)	15 779 (78.93)	12 822 (64.14)	2 348 (11.58)	△ 20.6	15 225 (75.07)	△ 3.5	12 877 (63.49)	0.4
中央区	3 144 (18.76)	12 839 (76.62)	9 695 (57.85)	2 362 (13.86)	△ 24.9	12 611 (73.98)	△ 1.8	10 249 (60.12)	5.7
南区	536 (2.19)	10 407 (42.52)	9 871 (40.33)	959 (3.88)	78.9	10 535 (42.67)	1.2	9 576 (38.79)	△ 3.0
城南区	230 (1.89)	4 863 (39.98)	4 633 (38.09)	111 (0.91)	△ 51.7	4 716 (38.78)	△ 3.0	4 605 (37.87)	△ 0.6
早良区	1 164 (5.51)	8 966 (42.43)	7 802 (36.92)	788 (3.72)	△ 32.3	8 827 (41.65)	△ 1.6	8 039 (37.93)	3.0
西区	1 152 (6.01)	8 136 (42.45)	6 984 (36.44)	1 477 (7.61)	28.2	8 584 (44.20)	5.5	7 107 (36.60)	1.8

注) ()内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの社会増加数、転入者数、転出者数。